

主の教え③愛する準備

ルカの福音書6:39-45
2011、6、19 HKJCF

I 概観

序)愛はロマンチックである以上に、実践的なもの、愛する準備としての主の教えは

- 1、愛の準備①イエス様の訓練 39-40
- 2、愛の準備②自分の課題の取り組み 41-42
- 3、愛の準備③愛とみ言の蓄え 43-45

II 愛の準備①イエス様の訓練

- 1、愛には準備(訓練)が必要:盲人と穴
- 2、その準備は受けることと自己の気づき
- 3、「親切な人」、「宗教的な人」ではなくイエス様がゴール、イエス様がDNA
⇒弟子のゴール:十分な愛と訓練を受けて、イエス様に遣わされること(イエス様の僕として)

III 愛の準備②自分の課題への取り組み

- 1、人の成長より、まず自分の成長
- 2、偽善者(ギリシヤの仮面劇の役者から)
 - ①人前で仮面をかぶる
 - ②仮面と素顔が違う
 - ③素顔が分からなくなる
- 3、まず、自分の素顔の気づきと課題へ
⇒イエス様の愛の目で見ても滑稽な私

IV 愛の準備③愛とみ言の蓄え

- 1、木と実の関係:裁かず(自己)評価する
- 2、「良い人」は心の倉に良い物がある人
- 3、「良い物」は①父なる神の愛とみ言
 - ②愛とみ言に満されることが最大の準備
←満たされたら、注いで、空にする必要
 - ③「自己吟味→注ぐ→空になる→満たされる」のサイクルの繰り返し:器を差し出す

V 適用

- 愛の実践には良い準備が必要です
- 1、イエス様をゴールとする→WWJD
 - 2、器を空にし、主の愛の流れに差し出す
 - 3、「愛の器」から「パイプ」へ、更にイエス様に「バトンを渡し」、愛する人を長く握らず、「主にある自立」を祈るのが秘訣
⇒土の器の宝(Ⅱコリ4:7)、多実と刈り込み、主がゴール(ヨハネ15:1-5、同21:22)